

港区立港南学校
平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

- よく考えて 学習する子 ○すなおで 心ゆたかな子
○進んで働き 協力する子 ○健康で がんばりぬく子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ◎子供たちに確かな学力を定着させる学校として、港南小学校で培う力
- ・子供が学びの楽しさや必要性を理解し、生涯に渡って学び続けようとする態度
 - ・基礎学力が充実し、個に応じた一段高い学力
 - ・課題を発見し、考え、解決する問題解決の力
 - ・主体的・対話的な学習を積み重ね、コミュニケーション力を高める

昨年度の成果と課題

- ・校内研究を通して「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、学校全体で授業改善を行った。児童がより進んで学習に取り組むようになったが、対話的な学習の内容については一層目的を焦点化した授業展開の工夫が必要である。
- ・習熟度別学習や学年間の交換授業など、柔軟な指導体制の元で児童の意欲を高め学力を定着させるような教材・指導法を開発したことで、自らの課題を設定し問題を解決する学習が定着してきた。
- ・体験的な学習を多く取り入れ、学ぶ楽しさや達成感を味わわせると共に、基礎・基本の定着を図った。児童の関心・意欲は向上しているが、学力調査の結果などから基礎的な学力が十分定着しているとはいえない。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の学習課題を明確にし、児童自らが学び、考え解決していく過程を重視した授業改善を図る。 ・体験的な学習を多く取り入れ、学ぶ楽しさや達成感を味わわせると共に、基礎・基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時数の確保に努める。 ・児童が自らの課題を設定し解決する力を育てるために、主体的・対話的な学習活動を取り入れる。 ・習熟度別学習や学年間の交換授業など、柔軟な指導体制の元で児童の意欲を高め学力を定着させるような教材・指導法を開発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の分析や児童の実態、教材等をもとに、各教科の年間計画及び単元の評価基準の見直しを図る。 ・児童・保護者が個々の学習状況を的確に把握し、その課題について認識して取り組めるように支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内OJT組織を有効に機能させ、教員相互の授業力の向上と学級経営力の伸長を図る。 ・学年部会を中心に研究を進め、各学年で設定した目指す児童像を実現することができるようにする。 ・専門的な指導技術獲得のため体育や理科等の実技研修会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色を生かして人や自然、大学、企業とかかわりを学習に生かし、体験的な学習活動の充実を図る。 ・学力調査の結果を個人面談等で保護者に通知し、個々の学習の課題と具体的な取組を検討する。

具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ☆問題解決型の学習課程を計画し、「主体的・対話的で深い学び」を念頭に置き、6年間の学習内容の繋がりをふまえたカリキュラムマネジメントを進める。 ○校外学習やゲストティーチャーを招いた学習など体験的な学習の年間計画を立て、学年間で連携して確実に継続していく。 ○放課後を利用して月に2回程度学習支援を行い、基礎・基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員同士の連携を密にし、6年間を見通した指導を行っていく。 ○問題解決型の学習過程を計画し、児童が自ら考え、追究していく活動を展開する。 ○習熟度別にクラスを分け発達段階に応じた課題を設定することで学力の底上げと学力の向上をはかる。 ☆学年毎に教科横断的な視点に基づいた年間の学習計画を作成し、実践する。 ▲視聴覚教材の活用を一層充実させ、タッチペンやタブレット、スクリーンメニューを活用した授業展開を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画、評価規準をもとに、各学年の目標に準拠した評価を計画的に実施する。 ○目標やめあてに照らした児童一人一人の学習状況を評価する。 ○毎時のノート指導を丁寧に行い、児童の学習状況を確認する。 ○学習活動に即した評価規準を明確にし、1時間で重点的に評価する観点を決める。 ☆学年毎に教科横断的な視点に基づいた年間の学習計画を元に、計画通り実施されているかを学期毎に評価し見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主任教諭を中心とした新人研修会等を実施し、授業力や生活指導力の向上を図る。 ○各学年部会で研究を進め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っていく。 ○研究授業後の協議会では、少人数のワークショップ型の協議会を行い、教員がそれぞれの立場や経験年数に応じた発言ができるようにする。 ☆校内研究授業の際に参観者は授業評価シートに基づいて授業を評価し、授業者や部会にフィードバックができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門的な知識や人材、設備などを生かした社会体験や学習の場の充実。総合的な学習の時間をはじめ、多教科に渡りゲストティーチャーを招いた学習の場を設けたり、多様な世代と交流する機会を創出したりして、地域に積極的にかかわる児童の育成に努める。 ☆夏休み港南クラブでの、地域の人材・企業活用の一層の活性化。
--	---	---	--	--

☆→今年度からの取組 ○→定着・継続している取組 ▲→活性化が必要な取組